

そよかぜ通信

第248号

発行

2021年2月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信

〒182-0032 調布市西町290-4

TEL 042-481-7663

FAX 042-481-7074

URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>



ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。

活動の一コマ写真館 ～コロナ対策編 part2～



食事や歯磨き時は、
フェイスシールドを着
用しています。



消毒は細目に！
職員は個別に消毒液
を持ち歩いています。



歯磨きは1名ずつ
行っています！



大山施設長も消毒作業中



食堂にパーテーション
を設置してます！



活動の一コマ写真館 ～陶芸班編～



現在、毎週水曜日に田崎職員から本格的に陶芸を教わりながら作品作りに取り組んでいます。ただ今、コーヒーカップやお皿を絶賛作製中です♪



どんぐりや松ぼっくりを使って、
模様をつけています！



焼き上がりが楽しみです！



☆今月のキラリ☆一番星!

今月のキラリ☆一番星は、Kさんです!

高幡不動尊で初詣

スピーディーに課題をこなす この手捌き!

そよかぜの外壁工事、いつ終わるのかなあ...



『調布 巡る アートプロジェクト』 見に行ってきました☺

昨年末、調布市文化会館たづくりにて開催されていた『調布 巡る アートプロジェクト』にアート班で見学に行ってきました。



そよかぜは、木材で作った街と、カラフルなたこの足を作成しています。

タオルとバスタオルのご寄付、 ありがとうございました!

先々月号にてお願いしていたタオルの募集ですが、皆様のおかげでたくさんのタオルが集まりました。写真の他にも倉庫にたくさんストック出来ました。さっそく、コミュニティ班の作業で利用者さんにカットしてもらい、職員が消毒作業に使用させていただきます。



そよかぜとはこんなところ



そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の人が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。

職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

『カピバラ愛』

内藤純江



私の愛するカピバラについて少しだけ語らせてください。出会いは井の頭自然文化園。もふもふとした愛らしさに惹かれました。それからあちこちにカピバラを訪ね、写真集、グッズ、CD、DVDを購入し、インスタ投稿を見まくり、ファンミーティングがあれば飛んでいき、かなりの熱狂的なファンに(笑)

カピバラは世界一大きなネズミと言われています。いつもお風呂にボーツとつかっているイメージがありますが、実はとても強くて優しく賢いです。お手も出来ます。

無防備なようですが、天敵が襲ってきた時の野生のカピバラが走る速さは時速50km。ポルトより速い! 日頃は無駄にエネルギーを使わず、本当に必要な時の為に力を温存するという自己管理能力の高さに感心します。

いつも穏やかで慌てない焦らない動じない。他の動物ともいい距離で共存できる器の大きさ。そしてまるで人間のようなしぐさや表情を見せ、何より愛情深く家族を大切にする姿に感動します。そんな賢者カピバラから学ぶことが実に多く、癒され続けています。ぜひ機会があったら会いに行ってみてください。

コロナが終息したら、全国のカピバラに会う旅なんかもいいなと思うのです。

